



シトリックス、アプリケーションとデスクトップのための、次世代パフォーマンスアナリティクスサービスの提供を開始

インテリジェンスとエクスペリエンススコアを組み合わせることにより、システムのパフォーマンスを引き上げると共に、従業員のエンゲージメント、生産性、および満足度を向上

フロリダ州オーランド発 - 2020年1月14日 - かつてシステムのパフォーマンス分析はスピードとフィードの監視に限られていました。今日ではユーザーエクスペリエンス (UX) を把握することが極めて重要となっています。シトリックスは企業のUXへの取り組みを支援するため、サーバー側インフラストラクチャーの監視だけには留まらず、IT管理者がパフォーマンス上の問題を個々のユーザーレベルで特定し、それらを事前に解決することによってエクスペリエンスを改善し、従業員のエンゲージメントを高めると共に満足度と生産性を引き上げる、次世代のサービスである[Citrix# Analytics for Performance](#)の提供開始をオーランドで開催されている[Citrix Summit](#)にて発表しました。シトリックスのProduct for Workspace Ecosystem and Analytics担当バイスプレジデントであるスティーブ・ウィルソン (Steve Wilson) は次のように述べています。「現代の従業員は、企業アプリケーションへのアクセスにおいても消費者ライクなエクスペリエンスを期待しています。また業務効率を下げるような、劣悪なシステムパフォーマンスを我慢することはありません。Citrix Analytics for Performanceを導入することにより、企業のIT部門は[Citrix Virtual Apps and Desktops](#)内でのエンドユーザーのエクスペリエンスとアプリケーションの状況を明確に把握し、満足度を高めると共に生産性を改善する、一貫した信頼性に優れたエクスペリエンスを提供できるようになります。」

Citrix Analytics for Performanceは、[Citrix Virtual Apps and Desktops](#)からリアルタイムで得られるテレメトリデータを統合する独自の機械学習エンジンを使い、ユーザーが得ているエクスペリエンスを機械のパフォーマンスだけでなく、ユーザーのログイン時間、ネットワークのレイテンシー、あるいはネットワークの安定性までを含めた、アプリケーションへのアクセスに影響する項目も考慮した独自の「UX Score」に数値化します。このスコアを使うことにより、IT管理者には以下のようなことが可能になります。

- パフォーマンスの劣化を迅速に発見し、その原因を特定する
- アプリケーションのパフォーマンス関連の問題を原因とする、ヘルプデスクへの問い合わせ回数を削減する
- パフォーマンスが劣化しているユーザーのグループやビジネス拠点を容易に発見する
- パフォーマンスのトレンドとユーザーエクスペリエンスの異常を追跡する
- 実際の使用状況と負荷に基づいて環境の規模を効率的に拡大縮小する
- システムのパフォーマンスとユーザーエクスペリエンスを包括的に評価および報告する

Enterprise Strategy Group社のシニアアナリストであるマイク・バウカー (Mark Bowker) 氏は次のように述べています。「企業がどの機器においてもアプリケーションとデータへの安全な、また一貫したアクセスを提供しようとするれば、ユーザーエクスペリエンスに対するインサイトとインテリジェンスが極めて

重要になります。このシームレスなエクスペリエンスを提供するための鍵は、ネットワークシステムとアプリケーションに対する視認性を常に確保し、生産性に影響が及ぶ以前に問題を発見し、それを解消することです。」

Citrix Analytics for Performanceはすでに一般への提供が開始されており、クラウドベースとオンプレミスの両方のCitrix Virtual Apps and Desktopに対応しています。このソリューションが提供するサービスと価値の詳細については[こちら](#)をご覧ください。